



3月20日(月)、永平寺キャンパス講堂で令和4年度学位記授与式を挙行了しました。今年度は、学部382名、大学院38名の計420名が本学での学びを修め、岩崎学長から各学科・専攻の代表者に学位記が授与されました。

今年度の学位記授与式は卒業生、修了生のための参加により開催し、式の様子はオンラインで配信されました。

## 2023年 4月開設!

### ● 健康生活科学研究科

看護学と社会福祉学を融合し、Well-being(ウェルビーイング)の向上を探究する全国的にも数少ない大学院「健康生活科学研究科」を開設します。

看護系の博士後期課程としては県内初の設置で、健康から生活までの多様な課題を包括的に探究できる自律的・国際的な研究者や、基盤となる専門的知識・技術と高い見識を兼ね備え、地域にも貢献できる大学教員や行政担当者を養成します。

### ● 情報センター

数値・データサイエンス・AI教育の強化、学内ICT環境の整備、DX推進を目的とした「情報センター」を開設します。教員と職員が一体となって、学内外の教育研究組織および地域と連携しながら、情報分野における教育研究の推進、支援を行っていきます。

開設にあわせ、BYODに対応した授業のほか、個人・グループでの自主学習にも利用できるアクティブ・ラーニング室を新設します。パソコン利用に関する様々な相談にも応じていきます。

### ● 小浜キャンパスに新校舎完成!

小浜キャンパスに建設していた新校舎の供用を開始します。新校舎には、県産スギを使用した天井の格子柄や若狭和紙による海をイメージしたガラス飾り、螺鈿細工を施した若狭塗の案内版など、県産品をふんだんに使用しています。テラスからは小浜湾を一望でき、開放的な空間の中で学びを深めることができます。



FPU NEWSについてご意見・ご要望をお寄せください。  
抽選で県大グッズプレゼント!

## 本学関係者の著書紹介

### 詳述公共

経済学部 廣瀬弘毅教授 共著  
(文部科学省検定済み教科書)  
(実教出版、2022)

新教育課程で新たに設定された高校の科目『公共』の教科書である。現代社会を読み解くための知識を、高校生自身が主体的に得ることができるように工夫されている。大学生にも一度目を通して欲しい。



### エッセンシャル植物生理学 農学系のための基礎

生物資源学部 村井耕二教授 共著  
(講談社、2022)

農学部への学生に向けた、植物生理学に関する教科書。実際の農作物生産との関連がイメージできるように、野菜や花、果樹などの具体例を数多く取り上げた。植物生理学の魅力や存分に味わえる1冊としてお薦め。



### ブラジルの社会思想

学術教養センター 石丸香苗教授 分担執筆  
(現代企画室、2022)

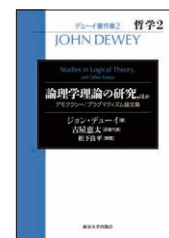
ブラジルは多様な人種と文化の混淆、開発と低開発の並存のなか、独自で豊かな社会思想を生み出してきた。本書ではブラジルを代表する思想家たちを取り上げ、現代社会にどのようなメッセージを送っているのかを考える。



### デューイ著作集2 哲学2 論理学理論の研究,ほか

学術教養センター 國崎大恩准教授 共訳  
(東京大学出版会、2023)

「民主主義」とは異なる「デモクラシー」を描き、「道具(有用)主義」とは異なる「プラグマティズム」を構想する。客観的事実よりも感情的・個人的な意見の方が強い影響力を持ってしまうポスト・トゥルースの時代に一石を投じる。



## 新任教員の紹介



海洋生物資源学部 先端増殖殖科学科  
准教授 八杉 公基 やすぎ まさき

(専門分野)動物生態学、行動学、情報フォトリクス  
プログラミングや深層学習など情報技術を身に付けて、カメラ映像から生物の様子を捉える技術の開発・応用を共に進めて行きましょう。

大学HPはこちら



# FPU NEWS

Fukui Prefectural University



福井県立大学  
Fukui Prefectural University

No.118

2023 春号

## 特別企画

# 県大生が福井を変える、支える 県大生×地域貢献 令和4年度 学生表彰受賞者 30年を振り返る あなたが知ってる“あるある”県大ネタ

▶公式SNSで県大ニュース配信!!



地域の子どもたちとスノードームづくりを楽しみました(BBSサークル)



# 県大生が福井を変える、支える 県大生 × 地域貢献

県内各地でまちづくりやボランティア活動に取り組む県大生がいます。

行政のまちづくり事業への参加やボランティア活動、若者の活動支援団体の立ち上げなど、

様々なフィールドで福井を盛り上げ、支えようと活動する学生の皆さんの活動を紹介します！

## 若者目線で永平寺町のコンセプト作り

- 経済学科4年 田川裕大さん ●経営学科1年 中野紗良さん
- 社会福祉学科1年 吉良楓華さん

永平寺町「ワカマチプロジェクト」に参加し、永平寺町の若者と大学生がチームを組み活動を始めています。永平寺町がもっと面白く、楽しい町になるよう「まちのコンセプトを考える」企画を考えました。今後は永平寺町をもっと知り、町の方々と交流しながら活動をしていく予定です。



永平寺町の長期的な活性化のために議論を交わしながら、町独自の「ストーリー」に注目して戦略的なまちづくりに取り組んでいます。大学で勉強しているだけでは出会えなかった方々と関わることでとても光栄です。これからもっと沢山の県大生の仲間を増やしていけたら良いなと思っているので、興味を持って頂けるように活動していきます！



## 子ども食堂や学習支援ボランティア

- BBSサークル BBS(Big Brothers and Sisters Movement)とは…  
青少年達に、いわば兄や姉のような存在として、一緒に悩み、学び、楽しむボランティア活動

地域の子どもの食堂でお弁当の配布や子どもたちと一緒にできるレクリエーションの実施をしています。また、小中学生の宿題を見たり勉強を教えたりする学習支援ボランティアや、保護観察を受けている青少年達と友達として触れ合うことを通して自立を支援するボランティア活動に取り組んでいます。



地域の中で子どもたちとのコミュニケーションをとる中で、子どもたち・地域のもつ可能性に気付かれます。BBSサークルは「楽しむ」ことを第一にして、子どもたちを中心に地域の人たちの居場所づくりに力を入れています！子どもたちと一緒に遊びたい！ボランティアをはじめたい！と思っている人は一度参加してみてください。

## 若者がチャレンジする場を作りたい

- 創造農学科3年 田中涼愛さん、山川日向さん

夢を持つ若者と知識・経験を持つ大人のつなぎ役として、若者のやりたい事を後押しする活動をするため、2022年12月に一般社団法人「あわらConnect(コネクト)」を立ち上げました。市役所や旅館組合、市内農業者などと若者を繋ぎ、これまでに地場産物を用いた加工品のキッチンカーの出店や就活イベントの応援などによって、地域との力強いコミュニティづくりを行ってきました。



あわらConnect  
立ち上げ



私たちは美味しいを届けたい、学生起業したいという夢をキッチンカーを貸して頂けたことで実現しました。夢があっても周りにどう思われるか不安で夢がない、わからないと言っている学生は沢山いると思います。そんな人たちへここにはどんな夢も否定しない、笑わない、一緒に夢を実現する術を考える大人、仲間がいる。ひとりじゃない。あなたの夢はなんですか？  
若者の夢を応援する あわらConnectより



## 南越前町オリジナルの へしこ作りにチャレンジ！

- 創造農学科3年 玉谷優花さん、天谷理香子さん、  
笠谷侑生さん、堀井蒼汰さん

南越前町の「まちみらいチャレンジ」事業で、美味しさが一定のへしこづくり、南越前町オリジナルへしこづくりに挑戦しています。鯖と一緒にタケノコを使ったへしこを作れないか検討し、仕込みを行っています。タケノコの仕込みには本来では捨てられてしまう糠も使用しています。へしこの新しい材料の発見とともに、「もったいない」を減らす取り組みも行なっています。今後は改良を重ねて商品化を目指します。



この活動は南越前町の海の宿さへいの女将さんや畠山酒造さんなど地域の方々にも協力していただきました。へしこは福井の伝統料理ですが、まだまだ知られていない魅力があります。活動を通して、より多くの人にその魅力を知ってほしいと思っています！

## 地元農家と協力し、 地域の若者のための フォトスポットづくり

- 経営学科3年 澤崎みの莉さん

南越前町の青年交流事業のGG隊の一員として、はたちのつどいの思い出作りの一助となるように、地域の花農家と協力してドライフラワーを使ったフォトスポットを作り、はたちのつどいで使ってもらいました。また、1年、3年生の時に南越前町の「まちみらいチャレンジ」事業に参加し、クイズでの南越前町の紹介、オンラインそば打ち体験教室の企画、町での生活の様子発信などを行いました。



これまで地元南越前町にあまり興味がなかったのですが、こうした活動を通じて南越前町の良い所や魅力を発見することができました。また、様々な方と交流することで新たな発見が多く、とても楽しく活動しています。



## 子どもたちのカヤック・海釣り体験をサポート

- シーカヤックサークル

小浜市阿納地区において、地区の高齢化等による人手不足のため若者の力を借りたいという地元民の皆さんの声を受け、サークルメンバー有志で、海の食の体験交流施設「ブルーパーク阿納」での子どもたちの教育旅行でのカヤック体験や海釣り体験の手伝いや、民泊の手伝いを行っています。

地域の人手不足を解消するだけでなく、学生のバイト先を作りかつカヤックに乗ることができる環境を作ることで、学生にも地域にもメリットがある「共存」を形にしました。中高生の研修旅行のアルバイトや、シーカヤック、釣りに興味のある方はぜひ遊びに来てください！



## 首都圏人材と地域の若者の協働によるアイデアで 地元企業の新事業創出

- 経済学科3年 吉澤宏太さん

県内外から集まった多様な専門性やキャリアを持つ人材と地元企業が連携し、共に学び合いながら新事業創出を目指す福井市のプログラム「INTERWEAVE」に参加しています。私達のチームは、ランドセル専門店イクラボの新事業創出に向けて、フィールドワークやワークショップを重ね、ファンコミュニティの作成や県大に2025年に設置予定の恐竜学部(仮称)や県大のサークルとの連携などの新事業のアイデアを提案しました。



県内外問わず様々な方とともに過ごしてきた中で、多様な視点から専門的な知識を学ばせていただきました。一方で自分自身からも県大の強みと新事業を結び付けるといった提案をさせていただくことができ、相互的に本気度の高いプロジェクトを行っていくことができたと感じています。



わくわくするようなまちづくりのために、また困っている人を助けるために、学生の皆さんの力を必要としている場所がたくさんあります。学生ならではの感性や行動力を生かして、福井を魅力あるまちにしてみませんか？

サークル、ボランティア、まちづくり等の情報は県大ホームページやつぐみ掲示板(Web)の「学生生活」をチェック！



大学HP「学生生活」



## 令和4年度 学生表彰受賞者

令和4年度学位記授与式の開催に合わせて令和4年度学生表彰式を行いました。学生表彰は、学業成績や学術研究などで特に顕著な功績を上げた学生・団体に送られます。  
受賞されたのは下記の皆さんです。

### 成績優秀賞

各学科卒業生から選出された成績優秀者です。

金本 直也(経済学部 経済学科)

小原 彩莉奈(経済学部 経営学科)

近藤 一宏(生物資源学部 生物資源学科)

上野 広海(海洋生物資源学部 海洋生物資源学科)

岩居 沙紀(看護福祉学部 看護学科)

西嶋 小夏(看護福祉学部 社会福祉学科)

### 優秀論文賞

各専攻修了生から選出された論文優秀者です。

西園 雄太(大学院博士前期課程 経済・経営学研究科 経営学専攻)  
「アクティビストの介入による企業価値の影響について」

芋玉 真生(大学院博士前期課程 生物資源学研究科 生物資源学専攻)  
「ナツメ含有のベツリン酸の抗細胞老化作用に関わる細胞内メカニズムの検討」

中村 智貴(大学院博士前期課程 生物資源学研究科 海洋生物資源学専攻)  
「珪質鞭毛藻における細胞外皮形成様式の解明」

野田 恵(大学院修士課程 看護福祉学研究科 看護学専攻)  
「コロナ禍に入職した新人看護師のストレス対処力とリアリティショックとの関連」

### 学術研究活動の部

国際的規模または全国的規模の学会から賞を受けた方や特に高い評価を受けた方です。

鎌倉 史帆(大学院博士後期課程 生物資源学研究科 海洋生物資源学専攻3年)  
珪藻とよばれる単細胞藻に関する基礎的研究において、アメリカ藻類学会学会誌「Journal of Phycology」に論文が掲載され論文の写真が表紙になるなど複数の業績をあげました。

中村 智貴(大学院博士前期課程 生物資源学研究科 海洋生物資源学専攻2年)  
ディクティオカ藻とよばれる単細胞藻がつくるガラスの骨格の形成過程を世界で初めて明らかにし、日本海洋学会海洋生物学研究会の「海洋生物シンポジウム2022」における学生優秀発表賞を受賞するなど複数の業績をあげました。

田中 智也(大学院博士前期課程 生物資源学研究科 生物資源学専攻1年)  
植物化学調節学会において「新規抵抗性誘導剤UT34のナス科作物の地上部および根部の病害に対する効果」という演題で企業推薦賞を受賞しました。

平野 羽留(大学院博士前期課程 生物資源学研究科 生物資源学専攻1年)  
ドイツで開催された国際植物低酸素応答学会で「イネの直播栽培を可能にする冠水発芽のメカニズム」について成果発表を行い、アジアからは唯一のTravel Awardを受賞しました。

### 社会活動の部

社会活動において特に高い評価を受けた方です。

藤村 紗菜(経済学部 経営学科4年)  
国立若狭湾青少年自然の家で子ども達の活動を支援するボランティア活動に携わり、さらに企画の代表を務め後輩の育成を行いました。

おめでとうございます！



あるある

## 30年を振り返る あなたが知ってる 県大ネタ

4月になると、カラフル頭が増える。  
(経営 在学生)

人数が少ない学科は  
専門の教室が毎回同じで、  
席が固定されがち

FPU NEWS 2022秋号で募集した“あなたが知ってる県大ネタ”をご紹介します！  
たくさんのご応募をいただきありがとうございました！

登下校中、鹿・猿に会わない日の方が珍しい。  
(海洋 在学生)

小浜キャンパスには、シカやサルなどの生き物があり、  
ちょっとした動物園となっています。  
(海洋 在学生)

キッチンBooのカレーが美味しすぎる



小浜湾が見える  
眺めの良い学食です



小浜キャンパス キッチンBoo

### 小浜キャンパスあるあるMAP

あっという間に  
風景の一部になります



永平寺キャンパス 県大レストラン

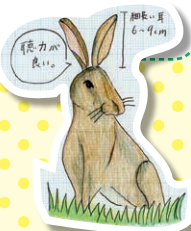
県大レストラン

学食に恐竜がいるのはここしかないのでは??  
(保護者)

約束した訳ではないのに、高頻度で図書館で出逢う  
いつもの顔ぶれがとても居心地がよかった  
(2000年経済入学 卒業生)

ウサギを見つけた! (経営 在学生)

永平寺キャンパスには県大ウサギが住んでいて、  
見れると幸せになるとかならないとか。  
(海洋 在学生)



イラスト：FPU学生環境LaBo  
(笹木麗奈さん)

看護棟付近で  
目撃情報多し!

### 永平寺町キャンパスあるあるMAP

授業開始5分前についても、学内が広すぎて  
授業に間に合わない笑笑 いつも走ってました笑笑  
(看護 在学生)

当時、バスが1時間に1本しかなく、  
交通の便が悪かった。道路も未整備が多く、  
時間がかかった。ローマは1日にしてならず。  
(1993年経営入学 卒業生)

出演アーティストが有名になる白樺祭!  
初期には安室奈美恵さんが出演していましたよー。  
(1997年経営入学 卒業生)

知り合いの知り合いは、知り合い。  
(1999年看護入学 卒業生)

第一駐車場人気過ぎ  
(社福 在学生)

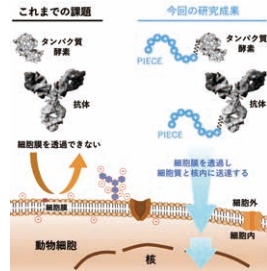




## 微生物由来のポリマー化合物が細胞膜を効率よく透過することを証明 ～医薬品開発への応用に期待～



左から丸山千登勢准教授、武内大和さん、マイクロブケム合同会社代表 坂本祥宏氏、濱野吉十教授



生物資源学部濱野吉十教授、丸山千登勢准教授、生物資源学研究科生物資源学専攻博士後期課程3年武内大和さんの研究グループは、微生物(細菌)によって生産されるポリマー化合物が動物細胞の細胞膜を極めて効率良く透過することを世界で初めて証明しました。

細胞内部の異常が原因で起こる疾病に対しても有効なバイオ医薬と抗体医薬への利用・応用およびバイオ材料のコーティング材としても期待されており、本学発のベンチャー企業「マイクロブケム合同会社」で社会実装が進められています。

## 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて魅力発信! 学生考案のトマトソースレシピ発表会を開催



1月12日(木)、北陸福井あわら温泉美松で森川峰幸教授の地域農政学研究室に所属する創造農学科の学生5人が開発したトマトソースのレシピ発表会を開催しました。

このソースは2024年春の北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた地域の魅力発信のために県と共同で開発したもので、地元坂井地区の農畜産物をふんだんに使用しています。今後は、農家レストランでのメニュー化をはじめ、県大マルシェや地元賑わい施設での販売を目指していく予定です。

## 学生たちが福井の食文化「アラレガコ」を試食



1月26日(木)、27日(金)、九頭竜川に生息する魚「アラレガコ」やその食文化を知り、親しんでもうため、県大レストランで「九頭竜川アラレガコ伝統文化を守る会」によるアラレガコの試食が行われました。唐揚げを試食した学生からは「サクサクしていておいしかった」「初めてアラレガコのことを知った。もっと食べてみたい」などの感想が聞かれました。

アラレガコの生息地が天然記念物になっている九頭竜川流域では、河川環境の変化等により生息数が激減し、アラレガコ食文化も消滅の危機にあります。こうした中、海洋生物資源学部田原大輔教授がアラレガコの養殖の研究を進め、短期間で成魚に育てる養殖技術を確立しました。養殖によるアラレガコ食文化の復活を目指しています。

## 地域経済研究所 南保所長・池下特任教授 最終講義を開催



3月10日(金)、3月末で退職する地域経済研究所南保所長による最終講義がアオッサ県民ホールで開催されました。「地域再生の未来像～域内産業の歴史経路から未来の在り方を考える～」をテーマにした講義や県内企業経営者等を迎えたパネルディスカッションが行われ、福井の産業の未来について語られました。

また3月29日(水)、同じく3月末で退職する池下譲治特任教授による最終講義が本学永平寺キャンパスで開催されました。「グローバルビジネスの流儀～『郷に入っては郷に従え』で本当に良いのか～」をテーマに新時代のグローバルビジネス経営戦略等について語られました。

## 生物資源学部 仲下教授が植物化学調節学会賞を受賞!



2022年11月25日(金)～27日(日)、本学永平寺キャンパスで植物化学調節学会第57回大会が開催され、生物資源学部仲下英雄教授が植物化学調節学会賞を受賞しました。

受賞タイトルは「全身誘導性植物免疫の多様な植物ホルモン類による制御機構に関する研究」で、イネの病害防除に広く活用されている全身獲得抵抗の誘導や抑制が複数の植物ホルモンで調節される仕組みを解明し、別の植物ホルモンが働く植物免疫の新しい仕組みを見出した成果が評価されました。これらの成果は、イネ以外の作物も含め、植物免疫をコントロールして殺菌剤に頼らない環境低負荷型防除技術の開発に貢献すると期待されます。

## 生物資源学部 風間教授が日本育種学会賞を受賞!



3月17日(金)、18日(土)、静岡大学で日本育種学会令和5年度春季大会が開催され、理化学研究所イオン育種研究開発室阿部知子室長、生物資源学部風間裕介教授、宮崎大学農学部平野智也准教授のグループが日本育種学会賞を受賞しました。

受賞タイトルは「重イオンビームによる育種技術の開発」で、研究グループは重イオンビームを植物や微生物に照射して突然変異を誘発し、新品種を作出する技術開発を行ってきました。この長年にわたる基礎研究および社会実装の優れた成果が高く評価されました。

## 『福井県立大学つぐみ賞』受賞者

看護福祉学部  
社会福祉学科3年  
森河 千琴さん



経済学部  
経済学科 3年  
榎 紅さん

ワールドカフェスタッフとして、日本人学生と留学生の懸け橋役を担うとともに、ワールドカフェにおける異文化理解、交流の推進に貢献しました!

生物資源学研究科  
生物資源学専攻  
博士前期課程1年  
江岸 祐夏さん



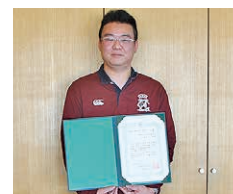
第56回根研究集会において「過湿土壌で増加するアンモニアはイネの酸素漏出バリア形成に影響するか?」についてポスター発表を行い、優秀発表賞を受賞しました!

生物資源学研究科  
海洋生物資源学専攻  
博士後期課程3年  
鎌倉 史帆さん



主となり執筆した論文が、アメリカ藻類学会の学会誌「Journal of Phycology」に掲載され、さらに当該論文の写真が掲載号の表紙に選ばれました!

生物資源学部  
創造農学科3年  
井ノ上 知さん



名古屋証券取引所が開催した第13回名証株式投資コンテストにおいて個人戦の部で第3位に入賞しました!

経済学部  
経営学科4年  
藤村 紗菜さん



国立若狭湾青少年自然の家で長年にわたり子ども達の体験活動のサポート等のボランティア活動に取り組み、独立行政法人国立青少年教育振興機構の法人ボランティア表彰を受賞しました!

生物資源学研究科  
生物資源学専攻  
博士前期課程1年  
田中 智也さん  
成田 楓都さん



植物化学調節学会第57回大会において「新規抵抗性誘導剤UT34のナス科作物の地上部および根部の病害に対する効果」を発表し、企業目線で研究を評価して選ばれる企業推薦賞を受賞しました!

海洋生物資源学部  
海洋生物資源学科3年  
桂田 芳紀さん  
大槻 絢乃さん  
高柳 百花さん  
山田 拓海さん



受賞動画  
「忍び寄る海ごみの脅威とこれから私たちが出来ること」はこちら



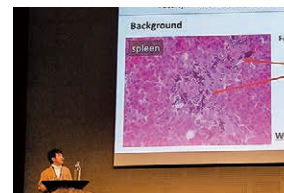
海ごみを減らすため小浜の海岸で清掃活動を実施するとともに、福井県が主催する「みんなで海ごみを減らそう」啓発動画コンテストに応募して40作品の中から最優秀賞に選ばれました!

生物資源学研究科  
生物資源学専攻  
博士前期課程  
2年 鬼頭 萌さん  
1年 小林 壮生さん



雌雄異株植物ヒロハノマンテマの植物性決定遺伝子を同定し、進化遺伝学のトップジャーナル「Molecular Biology and Evolution」に掲載されました!

生物資源学研究科  
海洋生物資源学専攻  
博士後期課程1年  
清水 友斗さん



ノルウェーで行われた国際魚介類免疫学会において「トラフグ脾臓エリブソイドの抗原捕捉細胞の単離と性状解析」について発表し、「Student travel bursary(学生会参加助成)」を受賞しました!